その他の事項経費

その他の事項経費のうち、主なものを説明すると次のとおりである。

- 1 マイナンバー関係経費(内閣府所管、デジタル庁所管、総務省所管、法務省所管及び厚生労働省所管)
 - (I) 決算の概要

令和6年度におけるマイナンバー関係経費の予算現額は

416,092,744 千円

であって、その内訳は

 歳出予算額
 186,167,366 千円

 当初予算額
 46,075,378 千円

 予算補正追加額
 140,091,988 千円

前年度繰越額 229.925.378 千円

であり、予算補正追加額は、国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策(以下「経済対策」という。)の一環として、潜在成長率を高める国内投資を拡大するための地方公共団体等が行うマイナンバーカードの円滑かつ安定的な発行及び利便性向上に要する費用の補助に必要な経費等を補正追加したものである。

この予算現額に対し

支出済歳出額は216,589,767千円翌年度繰越額は178,484,588千円不用額は21,018,388千円

であって、翌年度繰越額は、総務省所管のマイナンバーカード交付事務費補助金において、計画に関する諸条件により事業の実施に不測の日数を要したため、年度内に支出を終わらなかったこと等によるものであり、不用額は、総務省所管の電子政府・電子自治体推進費において、事業規模の見直しによる事業計画の変更があったこと、地方公共団体からの交付申請額が予定を下回ったこと等により、社会保障・税番号制度システム整備費補助金を要することが少なかったこと等のため生じたものである。

本年度における支出済歳出額等を所管別及び事項別に示せば、次のとおりである。

事	項	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不用額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
(内閣)	所 管)						
特定個人性監督等業	情報監視・ 務費	204,816	204,816	152,663		52,152	74
(デジタ)	レ庁所管)						
号の利用に	及び法人番 こ関する広 こ必要な経	734,657	1,524,729	1,077,829	450,000	Δ 3,100	70
公金受取口 務の支援 費	コ座登録業 こ必要な経	118,133	118,133	54,514	_	63,619	46
小	計	852,790	1,642,862	1,132,343	450,000	60,518	68
(総務省	省所管)						
マイナンル普及推進事	バーカード 事業費	151,575,085	237,929,129	90,963,071	142,500,415	4,465,643	38

事	項	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不 用 額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
ド・海外	ナンバーカー 公的個人認証の 継続利用等シス 整備費	5,705,700	18,379,810	8,522,290	5,705,700	4,151,820	46
ドヘ	ナンバーカー の氏名のロー 表記等システ 修費	_	29,398,031	20,679,202	2,106,917	6,611,911	70
そ	の他	2,102,317	2,468,499	373,343	2,058,021	37,134	15
小	計	159,383,102	288,175,469	120,537,906	152,371,053	15,266,508	41
(法	務省所管)						
	事務へのマイナ ー制度の導入経	21,210,191	32,514,431	10,438,464	21,210,191	865,776	32
(厚生	主労働省所管)						
	保障・税番号活 進事業費	4,516,467	93,555,166	84,328,390	4,453,344	4,773,431	90
合	計	186,167,366	416,092,744	216,589,767	178,484,588	21,018,388	52
(令和	和5年度合計)	256,518,306	410,738,227	150,685,455	229,925,378	30,127,394	36
(令和	和4年度合計)	187,498,742	349,660,129	166,847,808	154,219,921	28,592,400	47

⁽注) 上記のほか、情報システム関係経費に計上されている経費がある。

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、マイナンバー制度の円滑な運用等を実施するために要した経費であり、執行結果の概要は、次のとおりである。

(内閣府所管)

特定個人情報監視・監督等業務費(実績額 152,663 千円)

特定個人情報の取扱いに係る監視・監督等を行うに当たり必要な調査や立入検査等を実施した。

(デジタル庁所管)

- (1) 個人番号及び法人番号の利用に関する広報活動等に必要な経費(実績額1,077,829千円) 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(平25法27)に基づき、マイナンバー制度及びマイナンバーカードの利便性等に関する周知・広報やコールセンターの運営を行った。
- (2) 公金受取口座登録業務の支援に必要な経費(実績額 54.514 千円)

「公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律」(令3法38)に基づき、令和7年4月1日の金融機関での公金受取口座の登録等の受付事務開始に向けたシステムの運用保守や金融機関への問い合わせ対応等の支援業務を預金保険機構に委託した。

(総務省所管)

(1) マイナンバーカード普及推進事業費(実績額 90,963,071 千円)

マイナンバーカードを安定的に発行・交付できる環境を構築するため、地方公共団体情報 システム機構及び地方公共団体に対して、マイナンバーカードの申請、発行及び交付を行うた めに必要となる事業費・事務費の補助等を行った。 (2) マイナンバーカード・公的個人認証の海外継続利用等システム整備費(実績額 8,522,290 千円)

マイナンバーカード・公的個人認証(電子証明書)の海外継続利用を可能とするため、地方公共団体情報システム機構に委託し、同機構が管理運営する住民基本台帳ネットワークの改修等を行った。

- (3) マイナンバーカードへの氏名のローマ字表記等システム改修費(実績額 20,679,202 千円) 平仮名又は片仮名による個人氏名の表記を戸籍の記載事項とすることを含めた戸籍法制の見直しを踏まえ、住民票等に氏名の読み仮名を記載し、マイナンバーカードに氏名をローマ字表記できるよう、市区町村等において必要なシステム改修等を行った。
- (4) そ の 他(実績額 373,343 千円)
 - (イ) 個人番号カードの普及・利活用に要する経費(実績額 2,143 千円) 地方公共団体に周知・啓発活動を行い、利活用の取組を進めていくため、社会保障・税担 当者説明会を開催し、情報の共有を図った。
 - (ロ) 地方公共団体の情報連携の推進のための体制整備に必要な経費(実績額 6,048 千円) 国や地方公共団体等の情報提供ネットワークシステムを利用する機関(接続機関)の職員に対する研修等を行った。
 - (ハ) 救急需要対策の更なる充実強化に要する経費(実績額 365,151 千円) 救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、救急搬送に資する情報を把握する取組(マイナ救急)について、67 消防本部 660 隊の参画を得て実証事業を行い、具体的な運用方針等を整理した。

(法務省所管)

戸籍事務へのマイナンバー制度の導入経費(実績額 10,438,464 千円)

戸籍事務へのマイナンバー制度の導入に必要な戸籍情報システムの設計開発等を行った。

(厚生労働省所管)

社会保障・税番号活用推進事業費(実績額84,328,390千円)

社会保障・税番号制度のインフラを活用したオンライン資格確認等システム等整備事業等を実施した。

2 地方創生推進費(内閣府所管)

(I) 決算の概要

令和6年度における地方創生推進費の予算現額は 168,052,546千円 であって、その内訳は

歳出予算額 113,223,000 千円

 (当初予算額
 62,023,000 千円

 (予算補正追加額
 51,200,000 千円

前年度繰越額 54,829,546 千円

であり、予算補正追加額は、経済対策の一環として、新たな地方創生施策を推進するため「地域 再生法」(平 17 法 24) 第13条第1項の規定による地方公共団体が行う新しい地方経済・生活環境創 生事業に要する経費に充てるための交付金の交付等に必要な経費を補正追加したものである。 この予算現額に対し

支出済歳出額は 81,989,817千円

翌年度繰越額は 72,316,306千円

不用額は 13,746,422千円

であって、翌年度繰越額は、内閣府所管の新しい地方経済・生活環境創生交付金において、計画に関する諸条件により関係機関との調整に不測の日数を要したため、年度内に支出を終わらなかったこと等によるものであり、不用額は、内閣府所管の地方創生推進費において、地方創生拠点施設整備事業の地方公共団体からの交付申請額が予定を下回ったこと及び事業規模の縮小による事業計画の変更があったことにより、地方創生拠点整備交付金を要することが少なかったこと等のため生じたものである。

本年度における支出済歳出額等を事項別に示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

事項	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不用額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
地方創生推進交付金	55,223,000	66,464,129	51,989,400	9,621,167	4,853,561	78
地方創生拠点整備交 付金	5,000,000	46,588,417	28,541,897	9,753,970	8,292,549	61
地方大学・地域産業 創生交付金	3,000,000	5,000,000	1,458,520	2,941,169	600,310	29
新しい地方経済・生 活環境創生交付金	50,000,000	50,000,000	_	50,000,000	_	_
計	113,223,000	168,052,546	81,989,817	72,316,306	13,746,422	48
(令和5年度計)	93,723,000	160,460,104	79,549,261	54,829,546	26,081,296	49
(令和4年度計)	102,423,000	183,667,730	78,345,393	66,737,104	38,585,232	42

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、「地域再生法」等に基づき、地方公共団体が行う地方創生の深化のための先駆的な 取組等に対して支援するために要した経費であり、執行結果の概要は、次のとおりである。

(1) 地方創生推進交付金事業(実績額 51,989,400 千円)

地方公共団体において実施した地方創生推進交付金事業について、46 道府県、841 市町村及び3 広域連合に対して交付した。

(2) 地方創生拠点整備交付金事業(実績額28,541,897千円)

地方公共団体において実施した地方創生拠点整備交付金事業について、17 県及び140 市町村に対して交付した。

(3) 地方大学・地域産業創生交付金事業(実績額1,458,520千円)

地方公共団体において実施した地方大学・地域産業創生交付金事業について、9県及び3市 に対して交付した。

- 3 沖縄振興費(内閣府所管、総務省所管、文部科学省所管、厚生労働省所管、農林水産省所管、 経済産業省所管、国土交通省所管及び環境省所管)
 - (I) 決算の概要

令和6年度における沖縄振興費の予算現額は であって、その内訳は

406,258,536 千円

歲出予算額 284,681,026千円

当初予算額 257,697,602 千円 · 予算補正追加額 27,103,185 千円

前年度繰越額 121,508,920 千円

予備費使用額 68,590 千円

であり、予算補正追加額は、経済対策の一環として、国民の安心・安全を確保するため「沖縄振興特別措置法」(平 14 法 14)に基づく地方公共団体が施行する沖縄の振興に資する事業等の実施に要する経費に充てるための沖縄県に対する交付金の交付に必要な経費等を補正追加したものであり、予算補正修正減少額は、沖縄港湾空港整備事業工事諸費に必要な既定予算の不用額等を修正減少したものであり、予備費使用額は、令和7年1月28日に発生した埼玉県八潮市の道路陥没事故を踏まえ、下水道管路の特別重点調査等を行うため、地方公共団体が施行する大規模下水道管路特別重点調査等事業に要する事業費を補助する経費に使用したものである。

119.761 千円

この予算現額に対し

予算補正修正減少額

支出済歳出額は288,011,555千円翌年度繰越額は110,287,246千円

不用額は 7,959,734千円

であって、翌年度繰越額は、国土交通省所管の沖縄振興公共投資交付金において、計画に関する 諸条件等により事業の実施に不測の日数を要したため、年度内に支出を終わらなかったこと等に よるものであり、不用額は、内閣府所管の沖縄振興特定事業推進費において、地方公共団体等か らの交付申請額及び契約価格が予定を下回ったこと等により、沖縄振興特定事業推進費補助金を 要することが少なかったこと等のため生じたものである。

本年度における支出済歳出額等を所管別に示せば、次のとおりである。

戸	f		管	誓	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不 用 額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
内		閣		府	100,563,610	119,051,102	96,895,885	16,038,571	6,116,645	81
F	勺	閣	本	府	89,573,020	107,879,836	86,397,672	15,873,823	5,608,340	80
		電振頻 と推進	4交付 生費	寸金	39,449,468	43,566,338	40,689,925	2,266,951	609,462	93
	公夫	卡事業	美関係	養	1,234,064	1,234,064	1,221,027	_	13,037	98
			具開系 非給金		2,470,600	2,470,600	1,302,556	_	1,168,043	52
			興開系 出資金		100,000	100,000	100,000	_	_	100
	そ	0)	他	46,318,888	60,508,833	43,084,163	13,606,872	3,817,797	71
Ý	中縄	総合	事務	务局	10,955,544	11,136,220	10,463,360	164,747	508,112	93
	公夫	华事 第	美関係	系費	5,654,675	5,835,351	5,341,440	164,747	329,162	91
	そ	0)	他	5,300,869	5,300,869	5,121,919	_	178,949	96
有	<u>汝</u>	察		庁	35,046	35,046	34,853	_	193	99
総		務		省	13,459	224,152	219,239	_	4,913	97
文	部	科	学	省	24,354,025	47,783,369	41,268,375	6,043,520	471,474	86
厚	生	労	働	省	1,858,500	3,679,303	1,822,049	1,856,880	373	49
農	林	水	産	省	27,574,043	41,570,751	26,264,658	15,038,087	268,005	63
経	済	産	業	省	51,935	51,935	40,258	_	11,677	77
国	土	交	通	省	127,849,054	190,111,214	120,025,298	69,020,359	1,065,556	63

所		管	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不	用額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
環	境	省	2,416,400	3,786,708	1,475,791	2,289,828		21,089	38
	計		284,681,026	406,258,536	288,011,555	110,287,246		7,959,734	70
(令和] 5 年	度計)	290,467,474	402,499,983	274,311,693	121,508,920		6,679,369	68
(令 和] 4 年	度計)	281,676,053	392,158,154	272,428,561	112,032,509		7,697,083	69

(注) 計数中には、公共事業関係費その他の主要経費に計上されているものが含まれている。

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、沖縄県の優位性を活かした自立型経済の発展に向けて、より一層効果的な施策の 推進を図るために要した経費であり、執行結果の概要は、次のとおりである。

(1) 公共事業関係費

令和4年5月に策定された沖縄振興計画に基づく、道路、空港、港湾、農業農村整備等を中心として、沖縄県における社会資本の整備を推進するために要した経費

(内閣府所管)

他会計への繰入関係(実績額1,221,027千円)

「特別会計に関する法律」(平19法23)に基づき、空港整備事業に要する経費の財源として自動車安全特別会計空港整備勘定へ繰り入れた。(「自動車安全特別会計」の項参照)

(農林水産省所管)

(イ) 治山治水対策事業

治 山 事 業(実績額 516,552 千円)

治山事業費補助のうち山地治山総合対策事業費補助については19箇所で実施した。

(口) 農林水産基盤整備事業

(a) 農業農村整備事業(実績額13,925,907千円)

直轄事業については、かんがい排水事業3地区及び国営造成施設管理5地区、補助事業については、県営事業68地区及び団体営事業53地区で実施した。

(b) 森林整備事業(実績額270,693千円)

森林環境保全整備事業費補助のうち森林環境保全直接支援事業として造林事業 398 ha、 特定機能回復事業として造林事業 509 haを実施した。

(c) 水産基盤整備事業(実績額4,428,925千円)

直轄事業については、特定漁港漁場整備事業1地区、補助事業については、水産物供給基盤整備事業費補助のうち水産流通基盤整備事業2地区、水産物供給基盤機能保全事業16地区、漁港施設機能強化事業2地区、水産資源環境整備事業費補助のうち水産環境整備事業1地区、水産生産基盤整備事業7地区で実施した。

(ハ) 推 進 費 等

沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業推進費(実績額136,000千円) 農業競争力強化基盤整備事業費補助については3地区で実施した。

(国土交通省所管)

(イ) 治山治水対策事業

(a) 治 水 事 業(実績額 2,824,095 千円)

堰堤維持事業については、福地ダム等直轄で管理する9ダムにおいてダム関連施設の維持管理、施設の改修等を実施し、治水事業調査については、ダム運用、施設改良の検討を実施した。このほか、補助事業として特定土砂災害対策推進事業等を実施した。

(b) 海 岸 事 業(実績額 214,074 千円)

海岸保全施設の整備手法について現地調査を実施した。このほか、補助事業として海岸メンテナンス事業を実施した。

(口) 道路整備事業

道路交通円滑化事業(実績額20.830.527千円)

渋滞対策事業としてバイパスの整備、現道の拡幅等道路交通の円滑化を図るため必要となる事業については3路線で実施した。

(ハ) 港湾空港鉄道等整備事業

港湾改修事業(実績額16.113.945千円)

那覇港等において、港湾施設の建設、改良工事等を実施した。

- (二) 公園水道廃棄物処理等施設整備事業
 - (a) 国営公園事業(実績額4,315,413千円)

国営沖縄記念公園において、海洋博覧会地区の施設の改修を実施するとともに、令和元年 10 月の火災により焼失した首里城の復元に向けた取組等を実施した。

(b) 水道施設整備(実績額3,172,308千円)

簡易水道等施設整備費補助において、上水道施設 23 箇所及び簡易水道施設 14 箇所の整備事業に対して交付した。

(ホ) 社会資本総合整備事業(実績額18,585,686千円)

沖縄県における治水、海岸、道路、港湾、住宅、住環境整備、市街地整備、都市公園、下 水道の基幹事業及び関連事業に対して交付した。

(へ) 推 進 費 等

沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業推進費

(a) 道路整備事業(実績額1.478.456千円)

地域連携道路事業費補助については 19 箇所、道路更新防災等対策事業費補助については 3 箇所及び無電柱化推進事業費補助については 1 箇所で実施した。

(b) 港湾整備事業(実績額421,093千円)

水納港において、防波堤等の港湾施設の整備を実施した。

(c) 公営住宅整備事業(実績額392,378千円)

平良団地において、社会福祉の向上及び定住促進を図るため、公営住宅の整備を実施した。

(環境省所管)

公園水道廃棄物処理等施設整備事業

廃棄物処理施設整備(実績額1,475,791千円)

循環型社会形成推進交付金において、本部町今帰仁村清掃施設組合ほか14事業主体の整備等事業に対して交付した。

(2) その他の主要な経費

(内閣府所管)

(イ) 沖縄科学技術大学院大学学園補助金等(実績額22,151,679千円)

沖縄科学技術大学院大学学園において、世界最高水準の科学技術に関する教育研究を実施するとともに、スタートアップ創出拠点となる新たなインキュベータ施設の整備を始めとするキャンパスの施設整備を実施した。

(口) 沖縄振興開発金融公庫補給金等(実績額1.402.556千円)

沖縄振興開発金融公庫の業務の円滑な運営に資するための補給金を交付したほか、沖縄に おける新事業創出促進に要する資金に充てるため、同公庫に対して出資した。(「沖縄振興開 発金融公庫」の項参照)

(ハ) 沖縄振興交付金事業推進費

沖縄振興特別推進交付金(実績額40.689.925千円)

沖縄の実情に即してより的確かつ効果的な施策を展開するために必要な経費として、沖縄 県に対して交付した。

(総務省所管)

沖縄北部連携促進特別振興事業費

沖縄北部連携促進特別振興事業費補助金(実績額 219,239 千円)

北部地域の自立的発展の条件整備として、北部広域ネットワーク活用等情報化推進事業 (フェリー予約システム導入等事業)及び北部地域ラジオ中継局設備機能強化事業を実施した。

(文部科学省所管)

(イ) 沖縄国立大学法人施設整備費(科学技術振興費)

沖縄国立大学法人健康医療拠点施設整備費補助金(実績額33,623,436千円)

科学技術の振興に資する沖縄健康医療拠点の整備に必要な経費として、国立大学法人琉球大学に対して交付した。

(口) 沖縄教育振興事業費

学校施設環境改善交付金等(実績額3,435,417千円)

公立学校施設の新増築、改築等に必要な経費として、沖縄県及び県内市町村に対して交付した。

(厚生労働省所管)

沖縄振興交付金事業推進費

沖縄振興公共投資交付金(実績額1,820,803千円)

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るとともに、医療施設における患者の療養環境及び医療従事者の職場環境等の改善並びに臨床研修医の研修環境の充実等を図るために必要な経費として、沖縄県に対して交付した。

(農林水産省所管)

沖縄振興交付金事業推進費

沖縄振興公共投資交付金(実績額6.986.580千円)

農山漁村地域の総合的な整備を推進するために必要な経費として、沖縄県に対して交付し

た。

(経済産業省所管)

沖縄振興交付金事業推進費

沖縄振興公共投資交付金(実績額40,258千円)

工業用水道の整備に必要な経費として、沖縄県に対して交付した。

(国土交通省所管)

沖縄振興交付金事業推進費

沖縄振興公共投資交付金(実績額25,037,672千円)

社会資本の整備等に必要な経費として、沖縄県に対して交付した。

(参考)沖縄関係経費(沖縄振興費を含む。)

所	管	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不用額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
内	閣 府	103,725,990	123,458,096	98,730,423	18,584,500	6,143,171	79
内	閣 本 府	89,573,020	107,879,836	86,397,672	15,873,823	5,608,340	80
沖海事	縄振興交付金 業推進費	39,449,468	43,566,338	40,689,925	2,266,951	609,462	93
公	共事業関係費	1,234,064	1,234,064	1,221,027	_	13,037	98
	縄振興開発金 公庫補給金	2,470,600	2,470,600	1,302,556	_	1,168,043	52
	縄振興開発金 公庫出資金	100,000	100,000	100,000	_	_	100
そ	の他	46,318,888	60,508,833	43,084,163	13,606,872	3,817,797	71
沖縄	総合事務局	10,955,544	11,136,220	10,463,360	164,747	508,112	93
公	共事業関係費	5,654,675	5,835,351	5,341,440	164,747	329,162	91
そ	の他	5,300,869	5,300,869	5,121,919	_	178,949	96
警	察庁	3,179,178	3,557,457	1,509,032	2,021,706	26,718	42
2 2	ごも家庭庁	18,248	884,582	360,359	524,223	_	40
総	務省	13,459	224,152	219,239	_	4,913	97
法	務省	_	227,007	188,782	_	38,225	83
外	務省	54,286	54,286	48,818	_	5,467	89
財	務省	305,831	373,989	334,927	_	39,062	89
文 部	科 学 省	25,876,036	49,305,380	42,770,844	6,043,520	491,016	86
厚 生	労 働 省	3,429,906	5,284,089	2,503,301	1,888,972	891,815	47
農林	水 産 省	28,006,911	42,315,911	26,636,965	15,393,470	285,475	62
経済	産業省	51,935	51,935	40,258	_	11,677	77
国土	交 通 省	127,849,054	193,440,275	123,248,194	69,106,662	1,085,417	63
環	境 省	2,416,400	3,786,708	1,475,791	2,289,828	21,089	38
防	衛 省	508,567,900	596,741,046	390,274,403	202,244,357	4,222,285	65
特 第	中縄に関する 寺別行動委員 会(SACO) 関 系経費	414,870	853,283	575,812	187,022	90,448	67
*	米軍再編関係 経費(地元負 担軽減に資す る措置)	303,293,829	369,924,207	188,404,447	180,021,422	1,498,337	50
	計	800,297,708	1,015,262,876	686,471,949	315,551,311	13,239,615	67
	5 年度計)	659,679,675	848,439,424	623,443,236	210,655,387	14,340,801	73
(令 和	4 年度計)	611,516,023	817,432,750	610,960,936	189,469,898	17,001,915	74

⁽注) 計数中には、公共事業関係費その他の主要経費に計上されているものが含まれている。

4 北方対策費(内閣府所管、外務省所管及び国土交通省所管)

(I) 決算の概要

令和6年度における北方対策費の予算現額は

歳出予算額 2.091.940千円

· 当初予算額 2,093,748千円 \

予算補正追加額 3,754 千円

予算補正修正減少額 5,562千円

であり、予算補正追加額は、経済対策の一環として行う政府職員の賃上げ環境の整備に必要な経費を補正追加したものであり、予算補正修正減少額は、北方対策本部の運営に必要な既定予算の不用額等を修正減少したものである。

この予算現額に対し

支出済歳出額は 1,883,805 千円

不用額は 208,134 千円

であって、不用額は、外務省所管の地域別外交費において、事業内容の見直しによる事業計画の 変更をしたこと、事業規模が予定を下回ったこと等により、諸謝金を要することが少なかったこ と等のため生じたものである。

本年度における支出済歳出額等を所管別に示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

戸	所 管		管	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不	用額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)	
内		閣		府	1,680,734	1,680,734	1,647,948	_		32,785	98
外		務		省	309,354	309,354	134,005			175,348	43
国	土	交	通	省	101,852	101,852	101,852	_		_	100
		計			2,091,940	2,091,940	1,883,805	_		208,134	90
(令	和	5 年	度	計)	2,107,056	2,107,056	1,913,343	_		193,712	90
(令	和	4 年	度	計)	2,192,825	2,192,825	1,872,475	_		320,349	85

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、北方領土問題に関する調査研究、啓発宣伝等の施策に要した経費及び独立行政法 人北方領土問題対策協会が行う北方領土問題に関する国民世論の啓発、北方四島との交流、調査 研究事業等を実施するために要した経費であり、執行結果の概要は、次のとおりである。

(内閣府所管)

(1) 北方対策本部(実績額168,773千円)

関係団体との連携強化や次世代啓発等の北方領土返還要求運動の推進等を実施した。

(2) 独立行政法人北方領土問題対策協会(実績額 1,479,175 千円)

北方領土問題その他北方地域に関する諸問題の解決促進を図るため、次の事業を実施した。 なお、下記(ロ)北方四島在住ロシア人との相互理解を促進するための北方四島との交流事業 は、ロシアによるウクライナ侵略の影響により事業は中止となった。ただし、事業の再開を 見据え、北方四島交流等事業使用船舶「えとぴりか」の試験運航及び一般公開を実施した。

(イ) 全国各地における署名活動等の北方領土返還要求運動の推進、青少年向け研修会等の開催、パンフレット配布やインターネットによる情報配信、全国北方領土啓発イベントの実施

等の国民世論の啓発事業

- (ロ) 北方四島在住ロシア人との相互理解を促進するための北方四島との交流事業
- (ハ) 北方領土問題その他北方地域に関する諸問題についての調査研究事業
- (二) 元島民等による全国啓発活動推進事業及び北方四島自由訪問等の援護事業
- (ホ) 北方地域旧漁業権者等を対象とする融資事業

(外務省所管)

(1) 北方領土復帰対策費(実績額9,056千円)

返還運動のより強力なる推進のため、北方領土返還要求行事への出席等を通じた啓発・広報等を行い、北方領土問題に関する国民の理解促進を図った。

- (2) 日露平和条約締結対策費(実績額4,646千円)
 - ウクライナ情勢を踏まえ、諸外国との協議等を実施した。
- (3) 北方四島住民との交流事業(実績額 75,548 千円)
 ロシアによるウクライナ侵略を受けた日露関係の状況により、四島存住ロシア

ロシアによるウクライナ侵略を受けた日露関係の状況により、四島在住ロシア人の受入事業が中止となったことに伴うキャンセル料等である。

(4) 北方四島住民への人道的事業(実績額9,210千円)

ロシアによるウクライナ侵略を受けた日露関係の状況により、四島交流等事業が中止となり 現地訪問が実施できなかったため、遠隔での北方四島の医療事情・医療ニーズの調査・情報収 集等を実施した。

(5) 北方領土復帰期成同盟補助金(実績額35,543千円)

北方領土問題解決のための環境整備の一環として、平和条約交渉を後押しする国民世論の喚起及び統一、さらに国際世論の喚起を図るため、公益社団法人北方領土復帰期成同盟の事業の実施に要した経費について補助した。

(国土交通省所管)

北方領土隣接地域振興等事業推進費補助金(実績額101,852千円)

「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律」(昭 57 法 85)に基づく北方領土 隣接地域において実施する産業振興事業等に要した費用について補助した。

(参考)北方対策費(その他の事項経費以外の主要経費を含む。)

(単位 千円)

序	Î		;	管	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不	用額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
内		閣		府	1,680,734	1,680,734	1,647,948			32,785	98
外		務		省	309,354	309,354	134,005	_		175,348	43
農	林	水	産	省	206,810	206,810	102,297	60,000		44,512	49
国	土	交	通	省	101,852	101,852	101,852	_			100
		計			2,298,750	2,298,750	1,986,103	60,000		252,646	86
(全	和	5 年	度	計)	2,232,381	2,292,381	1,984,944	_		307,436	86
(令	和	4 年	度	計)	2,391,150	2,391,150	1,963,527	60,000		367,622	82

(注) 計数中には、食料安定供給関係費に計上されているものが含まれている。

5 青少年対策費(裁判所所管、内閣府所管、法務省所管、文部科学省所管及び厚生労働省所管)

(I) 決算の概要

令和6年度における青少年対策費の予算現額は 76.577,507千円

であって、その内訳は

歲出予算額 75,022,333 千円

当初予算額 73,273,680 千円 7

予算補正追加額 1.749.818 千円

予算補正修正減少額 1.165 千円

前年度繰越額 1,361,431 千円

予備費使用額 193,242 千円

流用増加額 501 千円

であり、予算補正追加額は、経済対策の一環として、国民の安心・安全を確保するため独立行政 法人国立青少年教育振興機構が施行する研修施設の整備費の補助に必要な経費等を補正追加した ものであり、予算補正修正減少額は、保護観察等に必要な既定予算の不用額を修正減少したもの であり、予備費使用額は、令和6年能登半島地震により災害を受けた青少年等研修施設につい て、独立行政法人国立青少年教育振興機構が施行する復旧等に要する費用を補助する経費に使用 したものである。

この予算現額に対し

支出済歳出額は 74,469,554 千円

翌年度繰越額は 1,482,564 千円

不用額は 625.389 千円

であって、翌年度繰越額は、文部科学省所管の独立行政法人国立青少年教育振興機構施設整備費補助金において、計画に関する諸条件により事業の実施に不測の日数を要したため、年度内に支出を終わらなかったこと等によるものであり、不用額は、法務省所管の矯正管理業務費において、契約価格が予定を下回ったこと等により、矯正管理業務庁費を要することが少なかったこと等のため生じたものである。

本年度における支出済歳出額等を所管別及び事項別に示せば、次のとおりである。

事項	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不用額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
(裁判所所管)						
少年事件処理経費	6,613	6,613	4,272	_	2,340	64
(内閣府所管)						
青年国際交流経費	1,346,394	1,346,394	1,327,366	_	19,027	98
青少年防犯関係経費	381,285	394,657	384,779	_	9,877	97
子ども・若者育成支 援推進経費	1,341	1,341	1,096	_	244	81
小計	1,729,020	1,742,392	1,713,242	_	29,149	98
(法務省所管)						
青少年事件処理経費	238,542	238,542	233,668	_	4,874	97
矯正施設経費	32,636,617	33,148,362	32,824,399	61,482	262,479	99
更生保護活動経費	18,886,225	18,886,225	18,607,100	2,493	276,631	98
その他	941,911	974,516	923,412	51,103		94
小 計	52,703,295	53,247,645	52,588,580	115,079	543,985	98

						\	十四 1111
事	項	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不 用 額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
(文部科	学省所管)						
	法人国立青振興機構運	9,012,603	10,010,055	8,743,294	1,266,761	_	87
運	営 費	7,745,842	7,745,842	7,745,842	_	_	100
施 設	整備費	1,266,761	2,264,213	997,452	1,266,761	_	44
	法人国立女 館運営費等	579,663	579,663	478,939	100,724	_	82
運	営 費	478,939	478,939	478,939	_	_	100
施設	整備費	100,724	100,724	_	100,724	_	_
芸術文化	と等の振興	7,034,928	7,034,928	7,020,999		13,928	99
そ	の他	38,639	38,639	35,344	_	3,295	91
小	計	16,665,833	17,663,285	16,278,576	1,367,485	17,223	92
(厚生労	働省所管)						
勤労青少 福祉増進	年の育成、 対策	80,344	80,344	73,707	_	6,636	91
職業訓	練経費	3,837,228	3,837,228	3,811,173	_	26,054	99
小	計	3,917,572	3,917,572	3,884,881	_	32,690	99
合	計	75,022,333	76,577,507	74,469,554	1,482,564	625,389	97
(令和5	年度合計)	74,351,914	76,321,925	72,485,095	1,361,431	2,475,398	94
(令和4:	年度合計)	74,381,141	83,726,113	79,234,081	1,970,002	2,522,029	94

(注) 計数中には、文化関係費に計上されているものが含まれている。

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、健全な青少年活動の助成等のために要した経費であり、執行結果の概要は、次のとおりである。

(裁判所所管)

少年事件処理経費(実績額4,272千円)

補導委託先の充実を図ったほか、関係機関との協議会、少年事件及び少年交通事件の再発防止 の講習会等を実施した。

(内閣府所管)

(1) 青年国際交流経費(実績額1,327,366千円)

日本と諸外国の青年の交流により、相互理解と友好を促進し、次代を担うにふさわしい国際性 を備えた日本青年の育成を推進するために、各種青年国際交流事業を実施した。

(2) 青少年防犯関係経費(実績額384,779千円)

少年の補導、相談、立ち直り支援等の非行対策、有害環境からの保護対策、児童ポルノ対策等 に関する事業を実施した。

(3) 子ども・若者育成支援推進経費(実績額1,096千円)

困難を有するこども・若者の支援及びこども・若者の健やかな成長に資することを目的とし、 地域におけるこども・若者支援のための体制整備及び表彰に係る経費を支出した。

(法務省所管)

- (1) 青少年事件処理経費(実績額 233,668 千円) 青少年犯罪者に対する事件処理を行った。
- (2) 矯正施設経費(実績額32,824,399千円)

少年院及び少年鑑別所の運営並びに少年関係機関連絡協議会及びケース研究会の開催のほか、 保安用機器の整備等のための経費として 28,956,439 千円を支出した。

(3) 更生保護活動経費(実績額 18,607,100 千円)

地方更生保護委員会及び保護観察所の運営等のための経費として13,229,638千円を支出した。

(4) そ の 他(実績額 923,412 千円)

こどもの人権 SOSミニレター等による人権相談等の経費として 470,741 千円を支出した。

(文部科学省所管)

(1) 独立行政法人国立青少年教育振興機構運営費等(実績額8,743,294千円)

独立行政法人国立青少年教育振興機構が行う青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図るために必要な業務の財源に充てるための運営費交付金として 7,745,842 千円を、同機構が施行する研修施設の整備費の補助として 997,452 千円を支出した。

(2) 独立行政法人国立女性教育会館運営費等

独立行政法人国立女性教育会館が行う女性教育の振興及び男女共同参画社会の形成の促進を図るために必要な業務の財源に充てるための運営費交付金として478.939 千円を支出した。

- (3) 芸術文化等の振興(実績額7,020,999千円)
 - (イ) 舞台芸術等総合支援事業(実績額 4,376,651 千円)

音楽、舞踊、演劇、伝統芸能等の各分野の芸術団体が行う我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる創造活動や人材育成等への支援のため、小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による舞台芸術公演等(1,672 校)を実施した。

(ロ) 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業(実績額 1,161,996 千円)

小学校・中学校等に一流の文化芸術団体や芸術家を派遣し、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験することを通じて、子供たちの創造力・想像力や表現力、コミュニケーション能力等の資質能力を育むとともに、将来の芸術家や観客層を育成するため、舞台芸術公演等(3,618校)を実施した。

(ハ) 伝統文化親子教室事業(実績額 1,482,352 千円)

子供たちが親とともに、茶道、華道、和装、囲碁、将棋などの伝統文化・生活文化等を体験・修得できる機会を提供する事業に対し支援(3,023 件)を実施した。

(4) そ の 他(実績額35.344千円)

地方公共団体による高校生留学を推進するための啓発活動や研修等を設けることにより、国際 的な視野を持ったグローバル人材の基盤形成を支援した。

(厚生労働省所管)

- (1) 勤労青少年の育成、福祉増進対策(実績額 73.707 千円)
 - (イ) 新規学校卒業者等雇用対策費(実績額 14,748 千円)

新規高等学校卒業者を対象とした就職面接会や、関係者による就職問題検討会等を行った。

(口) 麻薬等対策推進費等(実績額58,502千円)

青少年の薬物乱用を防止するための啓発活動等を行った。

(ハ) 若年者等職業能力開発支援費(実績額456千円)

若年者等に対する職業能力開発の推進を図るための企画及び立案並びに普及啓発を行った。

(2) 職業訓練経費(実績額3,811,173千円)

身体等に障害のある者に対して、能力を活かした職業に就くための訓練職種、訓練技法等について特別の配慮を加えた障害者職業訓練を行った。

(参考)青少年対策費(その他の事項経費以外の主要経費を含む。)

						`	<u> → ៤ 111)</u>
事	項	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不 用 額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
(裁判所所	f 管)						<u> </u>
少年事件処理		6,613	6,613	4,272	_	2,340	64
(内閣府所		.,.	-,	, .		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
青年国際交流		1,346,394	1,346,394	1,327,366	_	19,027	98
青少年防犯関係		381,285	394,657	384,779	_	9,877	97
子ども・若者 援推進経費		1,341	1,341	1,096	_	244	81
//	計	1,729,020	1,742,392	1,713,242		29,149	98
(法務省所		1,723,020	1,742,552	1,715,242		23,143	
青少年事件処理	-	238,542	238,542	233,668	_	4,874	97
矯正施設		32,636,617	33,148,362	32,824,399	61,482	262,479	99
更生保護活動		18,886,225	18,886,225	18,607,100	2,493	276,631	98
そ の	他	941,911	974,516	923,412	51,103	270,031	94
小	計	52,703,295	53,247,645	52,588,580	115,079	543,985	98
(文部科学省		02,100,200	00,241,040	32,300,300	110,073	040,000	
教育政策の		4,340,290	4,292,309	4,073,237	133,825	85,246	94
独立行政法人		4,540,230	4,202,000	4,073,237	155,625	05,240	J4
公立行政公人 少年教育振興 営費等	幾構運	9,012,603	10,010,055	8,743,294	1,266,761	_	87
運営	費	7,745,842	7,745,842	7,745,842	_	_	100
施設整	備費	1,266,761	2,264,213	997,452	1,266,761	_	44
独立行政法人! 性教育会館運営	国立女	579,663	579,663	478,939	100,724	_	82
運営	費	478,939	478,939	478,939	_	_	100
	備費	100,724	100,724	_	100,724	_	
初等中等教育の		975,121	975,121	640,846	49,838	284,436	65
教育政策調查		1,742,512	2,271,592	1,300,070	824,071	147,450	57
スポーツの		3,335,682	3,936,665	3,654,307	149,433	132,923	92
芸術文化等の		7,034,928	7,034,928	7,020,999	_	13,928	99
独立行政法人	国立科	2,855,040	2,855,040	2,855,040	_	_	100
その	他	1,295,355	1,905,355	523,393	1,176,716	205,245	27
小	計	31,171,194	33,860,728	29,290,128	3,701,368	869,231	86
(厚生労働省		02,212,201	22,000,120		3,101,000	300,231	
勤労青少年の福祉増進対策	-	147,546	147,546	144,397	_	3,148	97
職業訓練	経 費	3,918,535	3,918,535	3,839,214	_	79,320	97
小	計	4,066,081	4,066,081	3,983,612	_	82,468	97
(農林水産省		1,000,001	1,000,001	0,300,012		02,100	- 31
森林·林業担以 成総合対策		4,474,337	4,474,337	4,392,999	_	81,337	98
森林·山村地域 対策	或振興	15,090	15,090	15,090	_	_	100
小	計	4,489,427	4,489,427	4,408,089	_	81,337	98
合	計	94,165,630	97,412,886	91,987,925	3,816,447	1,608,513	94
(令和5年度	合計)	92,724,526	95,489,707	89,137,766	3,101,494	3,250,446	93
(令和4年度	-	90,793,149	101,888,408	95,476,777	2,842,144	3,569,485	93
八月四十十尺	⊔ #1 /	50,755,145 /ロ /h+/合: 4- 大-/					

⁽注) 計数中には、保健衛生対策費、雇用労災対策費、科学技術振興費、教育振興助成費、食料安定供給関係費及び文化関係費に計上されているものが含まれている。

- 6 情報システム関係経費(会計検査院所管、内閣所管、内閣府所管、デジタル庁所管、総務省所管、 法務省所管、外務省所管、財務省所管、文部科学省所管、厚生労働省所管、農林水産省所管、経済 産業省所管、国土交通省所管、環境省所管及び防衛省所管)
 - (I) 決算の概要

令和6年度における情報システム関係経費の予算現額は

896,995,541 千円

2,141,074 千円 人

であって、その内訳は

予算補正修正減少額

歲出予算額 685,739,597 千円

当初予算額480,327,293 千円 \予算補正追加額207,553,378 千円

前年度繰越額 211,255,944 千円

であり、予算補正追加額は、経済対策の一環として、潜在成長率を高める国内投資を拡大するため行う国税総合管理システムの整備等に必要な経費等を補正追加したものであり、予算補正修正減少額は、情報通信技術調達等適正・効率化の推進に必要な既定予算の不用額を修正減少したものである。

この予算現額に対し

支出済歳出額は636,331,790 千円翌年度繰越額は238,316,675 千円不用額は22,347,075 千円

であって、翌年度繰越額は、デジタル庁所管の情報処理業務庁費において、計画に関する諸条件により事業の実施に不測の日数を要したため、年度内に支出を終わらなかったこと等によるものであり、不用額は、厚生労働省所管の情報通信技術調達等適正・効率化推進費において、事業規模の縮小及び事業内容の見直しによる事業計画の変更をしたこと等により、情報処理業務庁費を要することが少なかったこと等のため生じたものである。

本年度における支出済歳出額等を所管別に示せば、次のとおりである。

戸	斤		賃		歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不	用額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
会	計	検	査	院	601,845	681,793	645,269	_		36,523	94
内				閣	4,452,253	8,277,816	5,936,612	2,234,394		106,809	71
内		閣		府	51,662,885	59,473,097	45,538,579	12,916,320		1,018,196	76
デ	ジ	タ	ル	庁	176,048,747	269,432,043	176,020,514	88,518,533		4,892,995	65
総		務		省	11,672,134	13,439,131	10,553,647	2,446,520		438,964	78
法		務		省	91,682,609	114,779,985	89,742,226	24,213,410		824,347	78
外		務		省	22,078,676	26,643,541	19,486,707	6,455,055		701,778	73
財		務		省	157,057,908	190,519,836	143,465,354	45,705,556		1,348,925	75
文	部	科	学	省	13,316,012	14,192,583	6,802,254	7,252,213		138,116	47
厚	生	労	働	省	41,598,407	67,396,616	33,613,718	26,438,039		7,344,859	49
農	林	水	産	省	18,875,023	23,945,158	17,041,417	6,079,674		824,066	71
経	済	産	業	省	14,093,879	14,093,879	8,963,267	2,113,396		3,017,215	63
国	土	交	通	省	46,586,603	54,520,062	40,667,290	13,197,268		655,502	74
環		境		省	5,585,127	7,418,360	6,131,737	746,291		540,331	82

所		管	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不	用	額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
防	衛	省	30,427,480	32,181,634	31,723,191	_		458	8,442	98
	計		685,739,597	896,995,541	636,331,790	238,316,675	:	22,347	7,075	70
(令 和	11 5 年	度計)	644,371,142	779,616,436	554,001,845	211,255,944		14,358	3,645	71
(令 和	114年	度計)	571,986,088	672,034,499	524,209,767	135,245,294		12,579	9,437	78

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、「デジタル庁設置法」(令3法36)等に基づき、情報システムについて一元的な統括・監理を実施し、情報システムの統合・共通化、情報連携及び利用者目線での行政サービス改革等を一体的に推進するために要した経費であり、執行結果の概要は、次のとおりである。

(会計検査院所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費(実績額 645,269 千円)

会計検査院における業務の実施のための会計検査院ネットワークシステムの整備や運用等を 行った。

(内 閣 所 管)

情報通信技術調達等適正·効率化推進費(実績額 5,936,612 千円)

サイバー攻撃等の不審な通信の横断的な監視、不正プログラムの分析や脅威情報の収集を実施 し、各組織へ情報提供を行うための GSOC (政府関係機関情報セキュリティ横断監視・即応調整 チーム)システムの整備や運用等を行った。

(内閣府所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費(実績額 45,538,579 千円)

警察情報システムの高度化、合理化を実現するための共通基盤システムの整備や運用等を行った。

(デジタル庁所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費

(1) 情報処理業務庁費(実績額 149,861,571 千円)

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」(令和6年6月21日閣議決定)に基づき、行政機関における生産性やセキュリティの向上を図ることを目途として、ガバメントソリューションサービスの整備や運用等を行った。

(2) 情報通信技術調達等適正・効率化推進委託費(実績額 126,351 千円)

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」に基づき、政府情報システム全体の最適化を目的として、現行システムの情報整理や将来像の設定等の調査を行った。

(3) マイナンバーカード関係システム事業費補助金(実績額 24,452,982 千円)

地方公共団体情報システム機構が行う、個人番号カード管理システム及び JPKI (公的個人認証サービス)システムの安全かつ安定的な運営、国民の利便性を向上させる各施策に対応するためのシステム整備や運用に要する経費を補助した。

(4) 預貯金口座情報提供等業務交付金(実績額1,573,818千円)

「公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律」及び 「預貯金者の意思に基づく個人番号の利用による預貯金口座の管理等に関する法律」(令3法 39)に基づき、金融機関に対し個人番号を通知する仕組み等の構築等に係るシステム整備等に 要する経費を預金保険機構に対して交付した。

(総務省所管)

情報通信技術調達等適正·効率化推進費(実績額 10,553,647 千円)

総務省における業務の適正かつ効率的な遂行のための総務省 LAN の整備や運用等を行うとともに、デジタル庁のガバメントソリューションサービスへの移行を行った。

(法務省所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費(実績額89,742,226千円)

登記所等における業務の適正かつ効率的な遂行のための登記情報システムの整備や運用等を行った。

(外務省所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費(実績額 19,486,707 千円)

国民(在留邦人含む。)や訪日外国人の利便性向上及び領事事務効率化を図るための領事業務情報 システムの整備や運用等を行った。

(財務省所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費(実績額 143.465,354 千円)

国税における業務の適正かつ効率的な遂行に必要な国税総合管理システム(KSK システム)の整備や運用等を行った。

(文部科学省所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費(実績額6,802,254千円)

文部科学省における行政業務の実施のための文部科学省行政情報システムの整備や運用等を 行った。

(厚生労働省所管)

情報通信技術調達等適正·効率化推進費(実績額 33.613.718 千円)

厚生労働省における行政業務の実施のための厚生労働省LANシステムの整備や運用等を行った。

(農林水産省所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費(実績額 17,041,417 千円)

農林水産省が所管する法令に基づく申請及び補助金等の申請をオンラインで行うための農林 水産省共通申請サービスの整備や運用等を行った。

(経済産業省所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費

(1) 情報処理業務庁費(実績額8,016,054千円)

経済産業行政のデジタル化のための経済産業省基盤情報システムの整備や運用等を行った。

(2) 情報通信技術調達等適正・効率化推進委託費(実績額 947,212 千円)

経済産業行政のデジタル化のための法人デジタルプラットフォームの整備や運用等を行った。

(国土交通省所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費(実績額 40,667,290 千円)

線状降水帯の予測精度向上のための数値解析予報システムの運用等を行った。

(環境省所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費(実績額 6,131,737 千円)

環境省における業務の適正かつ効率的な遂行のための環境省基盤情報システムの整備や運用等を行った。

(防衛省所管)

情報通信技術調達等適正・効率化推進費(実績額31,723,191千円)

防衛省における業務の適正かつ効率的な遂行のための防衛省 OA システム基盤の整備や運用等を行った。

7 文化関係費(文部科学省所管)

(I) 決算の概要

令和6年度における文化関係費の予算現額は 185,631,213千円

であって、その内訳は

歳出予算額 158,887,400千円

· 当初予算額 103,122,145千円 \

予算補正追加額 55,865,245千円

予算補正修正減少額 99,990千円

前年度繰越額 26,689,527千円

予備費使用額 54,286千円

であり、予算補正追加額は、経済対策の一環として、新たな地方創生施策を推進するため「文化財保護法」(昭 25 法 214)に基づく所有者等が施行する重要文化財等防災施設の整備費の補助等に必要な経費等を補正追加したものであり、予算補正修正減少額は、文化庁一般行政に必要な既定予算の不用額等を修正減少したものであり、予備費使用額は、令和 6 年能登半島地震により災害を受けた地域において、文化財の災害復旧を支援するため、被災文化財救援等事業を独立行政法人国立文化財機構に委託する経費に使用したものである。

この予算現額に対し

支出済歳出額は 147,842,793千円

翌年度繰越額は 33,756,168千円

不用額は 4.032.251 千円

であって、翌年度繰越額は、文部科学省所管の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金において、計画に関する諸条件等により事業の実施に不測の日数を要したため、年度内に支出を終わらなかったこと等によるものであり、不用額は、文部科学省所管の文化振興費において、大阪・関西万博に向けた文化資源の活用推進事業における地方公共団体等からの交付申請額が予定を下回ったこと、劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業における事業規模が予定を下回ったこと等により、文化芸術振興費補助金を要することが少なかったこと等のため生じたものである。

本年度における支出済歳出額等を事項別に示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

事	項	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不 用 額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
芸術文化等	節の振興 かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	32,447,482	34,394,219	32,066,659	877,687	1,449,872	93
文化財保護	護の充実	68,224,854	91,796,817	59,307,676	30,912,053	1,577,087	64
国立文化施	函設関係	50,936,008	52,107,192	50,476,030	1,538,968	92,192	96
その	他	7,279,056	7,332,985	5,992,426	427,460	913,098	81
計		158,887,400	185,631,213	147,842,793	33,756,168	4,032,251	79
(令和5年	き度計)	134,124,339	163,568,497	132,884,171	26,709,066	3,975,258	81
(令和4年	三度計)	175,635,267	272,944,925	227,829,753	29,444,158	15,671,013	83

(注) 計数中には、青少年対策費に計上されているものが含まれている。

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、芸術文化等の振興、文化財保護の充実、国立文化施設関係等に要した経費であり、 執行結果の概要は、次のとおりである。

(1) 芸術文化等の振興(実績額32,066,659千円)

文化芸術創造活動や芸術家等の人材育成、文化芸術による子供の育成事業を実施した。

(イ) 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業

小学校・中学校に一流の文化芸術団体や芸術家を派遣し、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験することを通じて、子供たちの創造力・想像力や表現力、コミュニケーション能力等の資質能力を育むとともに、将来の芸術家や観客層を育成するため、舞台芸術公演等(3,618 校)を実施した。

(口) 伝統文化親子教室事業

子供たちが親とともに、茶道、華道、和装、囲碁、将棋などの伝統文化・生活文化等を体験・修得できる機会を提供する事業に対し支援(3,023 件)を実施した。

(ハ) 舞台芸術等総合支援事業

音楽、舞踊、演劇、伝統芸能等の各分野の芸術団体が行う我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる創造活動や人材育成等への支援(1.953件)を実施した。

(二) 劇場・音楽堂等機能強化推進事業

我が国の文化拠点である劇場・音楽堂等の活性化と地域コミュニティの創造と再生を推進するため、劇場・音楽堂等が行う実演芸術の創造発信や、専門的人材の養成、普及啓発事業、劇場・音楽堂等間のネットワーク形成に対し支援(70件)を実施した。

(ホ) 新進芸術家の育成

世界で活躍する新進芸術家等を育成するため、美術、音楽、舞踊、演劇等の各分野において、国内外における研修・発表の場を提供した。

なお、本年度における新進芸術家の海外研修の人員は、次のとおりである。

区			分	人	員 (人)
18 意	支 以	上の	部		29
1	年	派	遣		24
2	年	派	遣		1
3	年	派	遣		
特	別	派	遣		4

区			分	人	員
15 总	支以上18	歳未清	前の部		
1	年	派	遣		1
	計	•			30

(へ) メディア芸術の創造・発信等

メディア芸術の創造・発信に資するため、人材育成事業やアーカイブの取組支援等を実施した。

また、我が国の映画の振興に資するため、優れた映画製作活動(51件)に対する支援等を 実施した。

(ト) クリエイター等支援事業

クリエイター等育成及び文化施設の高付加価値化のために行う事業並びにクリエイター 等支援事業(育成プログラム構築・実践)を実施するため、独立行政法人日本芸術文化振興 会に文化芸術活動基盤強化基金を造成した。

(2) 文化財保護の充実(実績額 59,307,676 千円)

(イ) 国宝、重要文化財等の買上げ

区 分	件数(件)	金額	備	考
美術工芸品	5	886,000	絵画ほか	
無形文化財資料	7	13,007	染織ほか	
計	12	899,007		

(ロ) 国有文化財の保存整備

区	分	件	数 ^(件)	金	額 (千円)	備	考
国有美術工芸理	品保存修		31		108,198	国宝奈良県藤ノ木古墳出	出出品ほか

(ハ) 重要無形文化財保存特別助成

助	成	対	象	数 ^(件)	助	成	金	額 (千円)
				108				207,000

(二) 史跡等購入費の補助

区	分	補助対象数	補助金額	備	考
史跡等購	青入費補助	159	8,974,601	難波宮跡附法円坂遺跡ほか	

(ホ) 国宝重要文化財等保存整備費の補助

区 分	補助対象数	補助金額	備	考
国宝重要文化財等保存 整備費補助	2,636	31,867,081	興福寺五重塔ほか	

(へ) 地域文化財総合活用推進事業の補助

区 分	補助対象数	補助金額	備	考
文化芸術振興費補助	434	1,795,749	地域伝統行事等の用具整備ほか	

- (3) 国立文化施設関係(実績額50,476,030千円)
 - (イ) 独立行政法人日本芸術文化振興会の活動

独立行政法人日本芸術文化振興会においては、自主公演として伝統芸能の公開を 143 公 演、現代舞台芸術の公演を 25 公演開催した。

なお、本年度における各劇場の入場者数は、次のとおりである。

区 分	入場者数
代替劇場(国立劇場)	109,386
代替劇場(国立演芸場)	17,412
国 立 能 楽 堂	37,223
国立文楽劇場	90,483
国立劇場おきなわ	11,356
新 国 立 劇 場	196,095
計	461,955

また、その他にも、

- (a) 文化芸術活動に対する援助
- (b) 伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他関係者の研修
- (c) 伝統芸能及び現代舞台芸術に関する調査研究・資料収集・活用などの事業を実施した。
- (ロ) 独立行政法人国立美術館の整備充実

独立行政法人国立美術館においては、作品 277 点の購入費に 3,607,490 千円を支出し、その他資料の収集に努めた。また、所蔵作品展のほか企画展等を合計 39 回開催するとともに、展覧会に関連する講演会や教育普及事業、美術に関する調査研究を行った。

なお、本年度における国立美術館の各館の入場者数は、次のとおりである。

区	分	入場者数
東京国立近代美	美術 館	445,748
国立工艺		40,299
京都国立近代美	美術 館	241,257
国立映画アーカ	カイブ	85,573
国立西洋美	術 館	1,666,056
国立国際美	術 館	169,813
国 立 新 美	術 館	581,746
計		3,230,492

また、その他にも、

- (a) 公私立美術館との連携協力による、国内美術館所蔵作品等のデータベースの充実、国 内外への情報発信
- (b) 我が国の現代美術やメディア芸術の作家の国際発信支援
- (c) 今後の美術館活動の中核的人材の育成に向けた大学院生等を対象としたインターンシップや美術館職員への研修

などの事業を実施した。

(ハ) 独立行政法人国立文化財機構の整備充実

独立行政法人国立文化財機構においては、有形文化財 42 件の購入費に 1,079,150 千円を支

出し、その他資料の収集に努めた。また、平常展のほか特別展等を合計 14 回開催するとともに、これらに関連する講演会の開催、出版物の刊行その他教育及び普及に関する事業を行った。なお、本年度における国立博物館の各館の入場者数は、次のとおりである。

	区				分		入場者数
東	京	玉	<u>17.</u>	博	物	館	2,563,820
京	都	玉	<u>17.</u>	博	物	館	338,444
奈	良	玉	<u>177</u>	博	物	館	552,359
九	州	玉	<u>\f\</u>	博	物	館	374,180
皇	居 .	三口	カす	1 尚	蔵	館	286,180
			計	4,114,983			

また、その他にも、

- (a) 文化財の調査研究に係る成果を普及し、その活用を促進
- (b) 文化財に関する情報及び資料を収集・整理・提供
- (c) 地方公共団体並びに博物館、文化財に関する調査及び研究を行う研究所その他これら に類する施設の職員に対する研修

などの事業を実施した。

(4) そ の 他(実績額5,992,426千円)

著作権施策の推進

著作物の利用円滑化と著作権の適切な保護及び対価還元のため、権利情報の集約化に向けた調査研究、海賊版対策事業、教育・普及啓発活動等を行った。

- 8 国際観光旅客税財源充当事業費(皇室費、法務省所管、財務省所管、文部科学省所管、国土交通 省所管及び環境省所管)
 - (I) 決算の概要

令和6年度における国際観光旅客税財源充当事業費の予算現額は

46.037.585千円

であって、その内訳は

歳出予算額44,000,000千円前年度繰越額2,037,585千円

である。

この予算現額に対し

支出済歳出額は35,463,626千円翌年度繰越額は6,668,157千円不用額は3,905,801千円

であって、翌年度繰越額は、皇室費の施設整備費において、計画に関する諸条件等により事業の 実施に不測の日数を要したため、年度内に支出を終わらなかったこと等によるものであり、不用 額は、国土交通省所管の国際観光旅客税財源観光振興費において、ICT等を活用した観光地の インバウンド受入環境整備の高度化事業における事業規模の縮小による事業計画の変更があった こと、歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業における関係機関との調整による事業計画の変更があったこと等により、観光振興事業費補助金を要することが少なかったこと等のため生じたものである。

本年度における支出済歳出額等を所管別及び事項別に示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

						`	<u>+</u>
事	項	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不用額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
(皇	室費)						
宮	廷 費	3,706,667	3,706,667	2,059,311	1,647,336	20	55
(法 矟	务省 所管)						
国際観観光振	光旅客税財源 與費	7,200,922	7,200,922	6,070,305	750,147	380,469	84
(財務	务省 所管)						
国際観 観光振	光旅客税財源 與費	2,491,042	2,491,042	1,873,601	414,552	202,888	75
(文部	科学省所管)						
国際観 観光振	烈光旅客税財源 長興費	8,116,238	8,253,563	6,729,842	762,485	761,234	81
(国土	交通省所管)						
国際観 観光振	烈光旅客税財源 長興費	10,086,000	10,145,923	8,166,903	838,155	1,140,864	80
独立行	光旅客税財源 f政法人国際観 以機構運営費	7,300,000	7,300,000	7,300,000		_	100
小	計	17,386,000	17,445,923	15,466,903	838,155	1,140,864	88
(環 均	竟省所管)						
国際観観光振	烈光旅客税財源 與費	5,099,131	6,939,468	3,263,663	2,255,480	1,420,323	47
合	計	44,000,000	46,037,585	35,463,626	6,668,157	3,905,801	77
(令和	5年度合計)	20,000,000	21,161,038	17,959,054	2,037,585	1,164,399	84
(令和	4年度合計)	9,000,000	20,589,529	17,417,864	1,161,038	2,010,627	84

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、国際観光旅客税を財源として、より高次元な外国人観光旅客の来訪の促進等のための観光施策を展開していくために要した経費であり、執行結果の概要は、次のとおりである。

(1) ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備(実績額9,788,359千円)

入管・税関の共同キオスク等の整備、顔認証による旅客搭乗手続きの円滑化、公共交通機関の多言語対応・無料 Wi-Fi 整備等に要した経費

(法務省所管)

国際観光旅客税財源観光振興費(実績額6,070,305千円)

円滑かつ適正な出入国審査体制の整備に必要なシステムの運用や空海港への出入国審査端末 の配備等を行った。

(財務省所管)

国際観光旅客税財源観光振興費(実績額1,873,601千円)

訪日外国人旅行者等の迅速な通関及びストレス軽減を図るため、入管・税関の共同キオスク 等の整備を実施した。

(国土交通省所管)

国際観光旅客税財源観光振興費(実績額1,844,452千円)

先端技術の活用等により、旅客が行う諸手続きや空港内の動線を一気通貫で高度化することによる旅客の待ち時間短縮の支援及び地方部への訪日外国人旅行客の誘致の加速化に向け、我が国へのゲートウェイとなる空港・港湾から訪日外国人旅行客の来訪が特に多い観光地等に至るまでの公共交通機関の利用環境の刷新等の支援を行うとともに、ICT等を活用した多言語案内標識等の観光地における面的な整備について支援を行った。また、緊急時に、日本人海外旅行者の安否確認を実施するとともに、海外安全情報の提供を行う情報プラットフォームについて、都市別の安全情報の周知や旅行会社と連携した運用を実施した。

(2) 我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化(実績額 7,855,896 千円) ビッグデータや SNS の分析を踏まえたプロモーションの効果分析や、個人の興味を分析し

(国土交通省所管)

(イ) 国際観光旅客税財源観光振興費(実績額 555,896 千円)

た先進的なプロモーションの展開等に要した経費

- 我が国の MICE の国際競争力を強化すべく、各都市の MICE 誘致体制強化に係る取組を 実施した。
- (ロ) 国際観光旅客税財源独立行政法人国際観光振興機構運営費(実績額7,300,000千円) 外国に対する我が国の多様な魅力発信のため、ICT・ビッグデータ等の分析・活用による 個人の関心にあわせた的確な情報発信を実施した。
- (3) 地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上(実績額 17,819,371 千円)

三の丸尚蔵館の整備、文化資源を活用した観光コンテンツの創成、国際競争力の高いスノーリゾートの形成促進、国立公園の利用拠点滞在環境の上質化等に要した経費

(皇 室 費)

宮廷費(実績額 2,059,311 千円)

外国人観光客等への新たな観光需要の創出などを目的として三の丸尚蔵館等の整備を行った。

(文部科学省所管)

国際観光旅客税財源観光振興費(実績額6,729,842千円)

2025年大阪・関西万博に向けて、最高峰の文化芸術を発信するための文化資源を活用した観光コンテンツの磨き上げ・創出を行うとともに、日本の文化芸術の多様性を世界に示す取組「日本博2.0」等を積極的・戦略的に展開した。

(国土交通省所管)

国際観光旅客税財源観光振興費(実績額5,766,554千円)

訪日外国人旅行者の満足度向上及び消費拡大に向け、夜間早朝といった時間帯並びに城及び 社寺といった場所の活用を含めた新たな体験型観光コンテンツの開拓・育成、地域が行う観光 資源の解説作成、インフラ施設の受入環境整備及び多言語情報発信、水上交通及び地域観光資 源を活用した新たなツアー造成並びにインバウンド対応に対する支援等を行った。

また、世界的な競争力を有する魅力ある観光地域づくりを促進するため、全国の優良な観光地域づくり法人の体制強化支援を行った。

(環境省所管)

国際観光旅客税財源観光振興費(実績額3,263,663千円)

訪日外国人旅行者の地域での体験滞在の満足度向上に資するため、国立公園の利用拠点において、民間活力導入を前提とした廃屋撤去、インバウンド対応機能の強化、文化的まちなみ改善、既存施設のリノベーション等を行う事業を実施した。

9 国有林野事業債務管理特別会計へ繰入(農林水産省所管)

(I) 決算の概要

令和6年度における国有林野事業債務管理特別会計へ繰入の予算現額は

歳出予算額

25.240.120千円

/ 当初予算額

25,814,714千円 \

予算補正修正減少額

574,594千円

であり、予算補正修正減少額は、借入金利子の支払財源の国有林野事業債務管理特別会計へ繰入れに必要な既定予算の不用額を修正減少したものである。

この予算現額に対し

支出済歳出額は

25.225.897千円

不用額は

14.222千円

であって、不用額は、農林水産省所管の国有林野事業収入財源借入金債務処理費国有林野事業債務管理特別会計へ繰入において、国有林野事業債務管理特別会計における一時借入金利子の支払がなかったので、国有林野事業収入財源の国有林野事業債務管理特別会計へ繰入を要することが少なかったこと等のため生じたものである。

本年度における支出済歳出額等を事項別に示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

事項	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不用額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
借入金利子国有林野 事業債務管理特別会 計へ繰入	1,055,788	1,055,788	1,055,787	_		0 99
国有林野事業収入財 源借入金債務処理費 国有林野事業債務管 理特別会計へ繰入	24,184,332	24,184,332	24,170,110	_	14,22	2 99
= +	25,240,120	25,240,120	25,225,897	_	14,22	2 99
(令和5年度計)	37,032,560	37,032,560	36,956,922	<u> </u>	75,63	7 99
(令和4年度計)	18,771,579	18,771,579	18,720,498	_	51,08	0 99

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、「特別会計に関する法律」に基づき、国有林野事業収入相当額等の借入金の償還財源及び借入金の利子の支払財源を国有林野事業債務管理特別会計へ繰り入れるために要した経費であり、本年度において繰り入れた金額は、次のとおりである。

(1) 借入金利子国有林野事業債務管理特別会計へ繰入

「特別会計に関する法律」附則第 206 条の 5 第 2 項の規定により借入金の利子の支払財源として、国有林野事業債務管理特別会計へ 1,055,787 千円繰り入れた。(「国有林野事業債務管理特別会計」の項参照)

(2) 国有林野事業収入財源借入金債務処理費国有林野事業債務管理特別会計へ繰入

「特別会計に関する法律」附則第206条の5第1項の規定により令和6年度において見込まれる国有林野事業収入相当額等の借入金の償還及び一時借入金の利子の支払財源として、国有林野事業債務管理特別会計へ24,170,110千円繰り入れた。(「国有林野事業債務管理特別会計」の項参照)

10 自動車安全特別会計へ繰入(国土交通省所管)

(I) 決算の概要

令和6年度における自動車安全特別会計へ繰入の予算現額は

歳出予算額 10,000,000千円

/ 当初予算額

6,500,000千円、

| 予算補正追加額

3.500.000千円/

であり、予算補正追加額は、「平成6年度における財政運営のための国債整理基金に充てるべき 資金の繰入れの特例等に関する法律」(平6法43)第7条第2項及び「平成7年度における財政運 営のための国債整理基金に充てるべき資金の繰入れの特例等に関する法律」(平7法60)第10条 第2項の規定による自動車安全特別会計自動車事故対策勘定への繰入れに必要な経費を補正追加 したものである。

この予算現額に対し

支出済歳出額は

10.000.000 壬円

であって、全額を自動車安全特別会計自動車事故対策勘定へ繰り入れた。

本年度における支出済歳出額等を示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

事	項	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不	用	額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
自動車安全特へ繰入	持別会計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	_			_	100
(令 和 5	年 度)	7,260,900	7,260,900	7,260,900	_			_	100
(令 和 4	年度)	6,649,475	6,649,475	6,649,475	_			_	100

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、「平成6年度における財政運営のための国債整理基金に充てるべき資金の繰入れの特例等に関する法律」等に基づき、自動車損害賠償責任再保険特別会計から一般会計へ繰り入れた額について、同法等に基づき運用収入に相当する額の一部を自動車安全特別会計自動車事故対策勘定へ繰り入れるために要した経費であり、本年度において繰り入れた金額は10,000,000千円である。(「自動車安全特別会計」の項参照)

11 エネルギー価格激変緩和対策費(経済産業省所管及び国土交通省所管)

(I) 決算の概要

令和6年度におけるエネルギー価格激変緩和対策費の予算現額は

3,093,218,064 千円

であって、その内訳は

歳出予算額

1,351,781,262 千円

当初予算額 — 千円、

予算補正追加額 1,351,781,262 千円

前年度繰越額 752,209,855 千円

予備費使用額 989,153,385 千円

流用等増加額 73,561 千円

であり、予算補正追加額は、経済対策の一環として、物価高を克服するため一般社団法人全国 石油協会が行う燃料油価格激変緩和対策事業に要する費用に充てるための基金の造成に要する 経費の補助に必要な経費等を補正追加したものであり、予備費使用額は、物価高騰の現下の状 況に鑑み、原油価格高騰対策等を推進するため、一般社団法人全国石油協会が行う燃料油価格 激変緩和対策事業の基金の造成に要する費用を補助する経費及び民間団体等が行う電気・ガス 価格激変緩和対策事業に要する費用を補助する経費等に使用したものである。

この予算現額に対し

不用額は

支出済歳出額は2,933,976,864 千円翌年度繰越額は136,316,273 千円

であって、翌年度繰越額は、経済産業省所管のエネルギー価格激変緩和対策事業費補助金において、計画に関する諸条件により事業の実施に不測の日数を要したため、年度内に支出を終わらなかったこと等によるものであり、不用額は、経済産業省所管のエネルギー需給構造高度化対策費において、電気・ガス価格激変緩和対策事業における契約価格及び事業規模が予定を下回ったこと等により、エネルギー価格激変緩和対策事業委託費を要することが少なかったこと等のため生じたものである。

22,924,926 千円

本年度における支出済歳出額等を所管別に示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

所		î	等	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不	用	額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
経済	産	業	省	1,351,781,262	3,085,406,396	2,927,325,196	135,156,273	2	22,924,926		94
国 土	交	通	省	_	7,811,667	6,651,667	1,160,000			_	85
	計			1,351,781,262	3,093,218,064	2,933,976,864	136,316,273	2	2,924	1,926	94
(令和	5 年	度	計)	798,800,018	6,381,732,470	5,609,787,924	752,209,855	1	9,734	,690	87
(令和	4 年	度	計)	7,324,958,684	8,909,842,419	3,325,835,995	5,582,932,452		1,073	3,970	37

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、燃料油価格、電気・ガス代支援等に要した経費であり、執行結果の概要は、次のとおりである。

(経済産業省所管)

(1) 燃料油価格激変緩和対策事業費(実績額 1,950,677,545 千円)

燃料油の小売価格の急騰を抑制するため、卸価格の原資の一部を支給する燃料油価格激変緩和対策事業に必要な基金の造成費として、一般社団法人全国石油協会に対して補助した。

(2) 電気・ガス価格激変緩和対策事業費(実績額 772,149,057 千円)

電気料金及び都市ガス料金の負担軽減を図るため、小売事業者等に対して、その値引き原資 の補助等を行った。

(3) 電気・ガス料金負担軽減支援事業費(実績額 204,498,593 千円)

電気料金及び都市ガス料金の負担軽減を図るため、小売事業者等に対して、その値引き原資を補助した。

(国土交通省所管)

タクシー事業者液化石油ガス価格激変緩和対策事業費(実績額6,651,667千円)

液化石油ガス料金の負担軽減を図るため、タクシー事業者に対して、燃料価格高騰相当分を補助した。

12 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(内閣府所管及び総務省所管)

(I) 決算の概要

令和6年度における物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の予算現額は

3.411.966.050千円

であって、その内訳は

歳出予算額 1,735,142,370千円

/ 当初予算額 — 千円 \

予算補正追加額 1,735,142,370千円

前年度繰越額 1,676,823,680千円

であり、予算補正追加額は、経済対策の一環として、物価高を克服するため地方公共団体が行う負担軽減が必要な低所得世帯並びに物価高騰の影響を受けた生活者及び事業者に対する地域の実情に応じたきめ細やかな支援に要する費用に充てるための交付金の交付に必要な経費を補正追加したものである。

この予算現額に対し

支出済歳出額は2,151,949,970千円翌年度繰越額は1,230,624,500千円

不用額は 29,391,580千円

であって、翌年度繰越額は、内閣府所管の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金において、計画に関する諸条件により事業の実施に不測の日数を要したため、年度内に支出を終わらなかったこと等によるものであり、不用額は、総務省所管の物価高騰対応地方創生推進費において、事業内容の見直しによる事業計画の変更があったので、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を要することが少なかったこと等により生じたものである。

本年度における支出済歳出額等を所管別に示せば、次のとおりである。

所		管	歳出予算額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	不 用 額	歳出予算現額 に対する支出 済歳出額の割 合 (%)
内	閣	府	622,661,990	622,673,422	_	622,661,990	11,432	_
総	務	省	1,112,480,380	2,789,292,628	2,151,949,970	607,962,510	29,380,148	77
	計		1,735,142,370	3,411,966,050	2,151,949,970	1,230,624,500	29,391,580	63
(令 和] 5 年	度計)	1,559,225,000	2,690,285,000	1,012,106,760	1,676,823,680	1,354,558	37
(令和] 4 年	度計)	_	_	_	_	_	_

⁽注) この経費は5年度から計上された経費である。

(Ⅱ) 経費の概要及び事業実績

この経費は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に要した経費であり、執行結果の概要は、次のとおりである。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(実績額 2,151,949,970 千円)

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者及び事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせて必要な支援をきめ細やかに実施できるよう、事業に要する費用に充てるための交付金を交付した。